

少年センター

だより

守山野洲少年センター

相談は ☎ 583 - 7474 まで

『あすくる守山野洲』

<http://www.usennet.ne.jp/~syonen-c/>

私たち大人一人ひとりの眼差しが、子どもの『羅針盤』に

守山市教育委員会 教育長 辻本 長一

地域の皆様には、いつも温かく子どもたちを見守り、地域行事や諸活動を通じて子どもたちの「出番」を作ってくださっていることに、心から感謝申し上げます。皆様の存在は、子どもたちにとっての大きな安心感であり、社会とつながるための架け橋となっています。

現代は価値観が多様化し、先行きが見通しにくい時代です。そんな中、子どもたちが自分らしく、しなやかに未来を切り拓いていくために、今私たちは子どもたちにどのような力を育ていけばよいのでしょうか……。以下、私として考えてみました。

- ☆自分の強みや弱みを理解し、自らの感情や行動を柔軟に調整しつつ、主体的に目標に向かって行動できる力
- ☆困難なことに直面しても試行錯誤して粘り強く取り組む力
- ☆地域社会の一員として、他者との関係性を大切にしながら、自らの役割を自覚し、責任感をもって豊かな生活を送ろうとする力

また、すべての基盤として、より良い生き方を創造しようと、その時々に関わり合い、他者との関係性の中で適切に判断しようとする、豊かでしなやかな心を育てることも大切です。

こうしたことを踏まえ、教育界では、「教える」ことから「子どもたちの学びを引き出す」ことへと指導観が変化しつつあります。学びの結果だけを見るのではなく、「どのように学んだか」という学びのプロセスも大切にしています。また、地域の方々との対話や交流を通じ、多様な価値観にふれる取組を進めるとともに、子どもたち自身が学校生活をより良くしようと話し合う児童生徒会活動も推進しています。学校もまた、そのような「大人社会の縮図」として、子どもたちが失敗も経験し、学び直せる場であることをめざしています。

そして、子どもたちが持つ力を引き出すためには、家庭や地域でのちょっとした関わりが大きな力となります。日々の暮らしの中で、私たち大人が大切にしたい3つの関わりがあります。

- ★「問いかける」関わり：子どもの話を最後まで聞き、自ら考え、選択する機会を増やす。小さな挑戦を励まし、共に「できた！」を喜び合うこと。
- ★「出番をつくる」関わり：地域活動の中で、子どもを「お手伝い」ではなく「一員」として迎え、その知恵や力を発揮し、子どもたちが自分の力で誰かを笑顔にできた、といった体験を増やすこと。
- ★「背中を見せる」関わり：子どもは大人の姿を敏感に感じ取ります。私たち大人自身が、互いの違いを尊重し、協力し合い、社会をより良くしようと対話を楽しむ姿を見せること。

子どもたちにとって、私たち地域の大人一人ひとりの温かい眼差しや言葉かけが、未来を拓く羅針盤となります。これからも「共に育む」環境を皆様と作っていきたいと思います。

“イライラや怒り”と上手に付き合おう!

『あすくる』
カウンセラーより

中学生の毎日は、勉強や部活、SNS など、常にフル回転です。
心や体が急成長する時期だからこそ、自分でも気づかぬうちに疲れやストレスがたまり、ふとした瞬間にイライラしたり、怒りっぽくなったりすることも珍しくありません。



結果として「怒りの爆発」は、自分も他人も傷つけてしまうことになります。
怒りやイライラを爆発させずに、上手にコントロールできるようになることが大切です。

怒りやイライラ
に対処する方法

① まずは 6 秒待つ

怒りの爆発のピークは、最初の6秒と言われています。
カッとなっても、まずは心の中でゆっくりと数えてみましょう。

② その場を離れる

「ちょっとトイレに行く」など、
怒りの原因から物理的に距離を置いてみましょう。

③ 深呼吸をする

鼻から吸って、口から細く長く吐いてみましょう。
身体が緩めば、心も自然と落ち着きます。

とはいえ、イライラしたときに自分ひとりで気持ちをコントロールすることは、簡単なことではありません。
思春期は、「自分の気持ちをうまく整理できない時期」でもあります。イライラや怒りの気持ちのうしろには、不安、焦り、さみしさなどの気持ちが隠れていることも少なくありません。

そんなときは、一人で抱えこまず、友達、家族、先生、スクールカウンセラーなど、「安心して話せる人」に話してみてください。

話をすることで、自分の気持ちが整理されたり、少し心が軽くなったりすることがあります。

少年センター『あすくる』でも、相談を受け付けています。ぜひ相談してください。

守山野洲少年センター 『あすくる守山野洲』
〒524-0021 守山市吉身三丁目11番43号 守山市商工会館3階
TEL: 077-583-7474・077-570-7557 FAX: 077-581-1419
<http://www.usennet.ne.jp/syonen-c/>

月～金曜日 9:00～17:00
カウンセリングは 要予約(火・金)
まずは、お電話をください。



犯罪を実行させて、使い捨て

やみ
闇バイト

中学生に忍び寄る悪の誘惑の恐ろしさ

5月中旬に栃木県で、闇バイトとみられる4人の若者が実行役となった強盗殺人事件が起きました。しかも、驚くべきことにその4人は、全員16歳の高校生年代であるということです。闇バイトによる犯罪は増加の一途をたどり、しかもどんどん低年齢化していることから、中学生の皆さんも、いつ巻き込まれてもおかしくない状況です。今こそ、その恐ろしさをしっかり学び、関わったり、巻き込まれたりしないように、強い心を持つ必要があります。

1

SNS上のあやしい求人

「高額バイト。お金に困って

いる人、必ずかせげます。短時間で日給10万円。即日支払いOK。未経験歓迎、誰にでもできます。簡単なお仕事です。」かせげる、もうかるという目先の利益だけにとらわれて、SNS上のこのような求人に応募すると、それこそが危険な＜闇バイト＞の入口で、待ち受けているのは犯罪グループです。あなたも犯罪者の仲間になります。



2

個人情報一要求と脅迫

やり取りを始めると、学生証、マイナンバー、運転免許証、写真などの個人情報を要求されます。また、家族の個人情報を要求されるケースもあるようです。栃木の事件でも、「実行しなければ、家族に危害を加える」と脅迫され、後戻りできない状態に追い込まれました。



3

犯罪行為の使い捨て実行犯

実行が近づくと、このバイトが犯罪行為だと明らかになりますが、逃げることは厳しくなります。やるしかないという状態です。

秘密性の高いアプリなどを使って出される指示のとおり、最前線で、犯罪行為に及ぶことになります。犯罪グループは、決してあなたたちを守ってくれません。犯罪行為の実行犯として、組織の末端として、使い捨てられるのです。



4

これらはみな犯罪行為

- オレオレ詐欺などの実行役である
 - ・「架け子」（電話を架けてだます役）
 - ・「受け子」（現金やカードをだまし取る役）
 - ・「出し子」（ATMから現金を引き出す役）など
- 強盗の実行犯として利用される場合もあり、殺人、傷害に及ぶこともあります。

※これらはいずれも犯罪行為であり、刑事罰を受けます。被害者から損害賠償を請求されることになります。



7月は「青少年の非行・被害防止滋賀県強調月間」です！健全な青少年の育成のために！

6月20日（土）～7月19日（日） 『ダメ。ゼッタイ。』普及運動（薬物乱用防止）

～守山野洲少年補導(委)員会の活動・紹介～

《守山地区少年補導(委)員会》

～メンバー自己紹介～



(勝部)野々村利英
「子供は宝」の気持ちで接しています。

6人で、力を合わせて
地域の子どもたちのために
がんばって活動しています。



(千代)石田浩二
技術の進歩により考えることを省略する社会に向かっています。
その結果、想像力の低下が起き犯罪の低年齢化、過激化にもつながっていると思います。
チャット GPT だけではなく、相談できる人の存在が重要と考えます。

(梅田)西村 聡

主な活動は

- ①年1回の薬物乱用防止教室
・守山小学校6年生対象に実施
- ②月1回の街頭補導巡回
・コンビニ、ドラッグストアの立ち寄り近況聞き取り
・スーパー、塾、複合商業施設での自転車施設状況確認
・自転車交通違反項目に基づいて自転車走行者に注意勧告



(今宿)徳富 敬一
青少年の健全育成のために頑張っています。



(本町)山脇 良文
青少年が闇バイトや薬物乱用など悪い誘いに乗らないよう、家族や周りの大人たちが注視しましょう。



(泉町)福井寿美子
少年補導(委)員の活動を通して、あらゆる危険から子どもたちを守ること。当たり前ですが「大人の責任」を感じています。



《野洲地区少年補導(委)員会》

～メンバー自己紹介～

幹事をしております荒川博行です。7名の少年補導(委)員とともに街頭補導巡回活動、薬物乱用防止教室、地区の事業などの参加をおこなっています。居住区域内における少年の健全育成に配慮し、また有害環境の把握に努めております。よろしくお願いいたします。

木村健二と申します。地域の子どもたちが事件や事故に巻き込まれず、健やかに育つ環境づくりに少しでも力になればと思います。少年補導(委)員を引き受けました。何もわからず1年が経過しましたが、皆様のお力添えで、何とかがんばることができました。家では介護もあり、ご迷惑をおかけしています。残り1年ですが、よろしくお願いいたします。

廣部貴子です。今年で6年目になります。主な活動は街頭補導巡回ですが、年1回の小学6年生対象の薬物乱用防止教室での、身近な子どもたちとのふれあいは有意義で貴重な時間となっています。今年もよろしくお願いいたします。

令和3年度より、少年補導(委)員をさせていただき6年目になりました。駅前の坂口陽子でございます。この年月の中で感じたことは、野洲の子どもたちは皆健全で明るく素直だということです。何度も声をかけしていると子どもたちの方から笑顔で挨拶をしてくれます。人と人の触れ合いは今の時代とても大切なことで大きな力になると思います。これからも皆さまと共に子どもたちの見守りが出来れば嬉しいです。よろしくお願いいたします。

少年補導(委)員になって2年目の山本純子です。公園で友だちと遊ぶ子どもたちの姿がほほえましく、「暗くなる前に帰りや」と声をかけると嫌がらずに「ハイ」と返事をしてくれます。そんなちょっとした子どもたちとの交流をうれしく感じています。



安藤翔太です。地域の見回りやパトロールを通じて、子どもたちが安心して過ごせる町づくりに関わっています。地域の皆さまと協力しながら、青少年の健全育成と町の安全に少しでも貢献できればうれしく思います。どうぞよろしくお願いいたします。

少年補導(委)員の太田匡弘です。2月に野洲小学校6年生を対象に「薬物乱用防止教室」をおこないました。その日、下校時に立っていると帰ってきた6年生が「今日はありがとうございました」とあいさつをしてくれました。子どもたちとのつながりが少しでも持てる少年補導(委)員でありたいと思います。



お知らせ

5月に発行して全戸配付いたしました「少年センターだより」第211号第4面の少年補導委員会名簿で、調整中の立入が丘地区の少年補導委員は、長井幹彦さんをお願いすることになりました。